



NISSAY

2020年度 業績の概要

2021年5月26日

日本生命保険相互会社
Nippon Life Insurance Company

日本生命グループにおける 新型コロナウイルス感染症に関連するこれまでの取り組み

お客様

＜ご契約に対する特別取り扱い・契約貸付（新規貸付）の利息免除について＞

- 保険料の払い込みに関する期間の延長（2020年3月16日から9月30日にお申し出があったご契約と、2021年1月7日および2021年4月25日以降に緊急事態宣言が発令された一部の地域においてお申し出があったご契約が対象）
- 保険金・給付金・契約貸付金の簡易迅速なお支払い
- 保険契約の更新手続きの遡及対応（2020年9月30日にて取り扱い終了）
- 新規の契約貸付の利息免除（2020年6月30日にて取り扱い終了）

＜「新型コロナウイルス感染症」に罹患されたお客様への保険金・給付金のお支払いについて＞

- 「災害割増特約」「（新）傷害特約」等のお支払いの対象
- 自宅またはその他病院などと同等とみなされる施設での治療も、入院給付金のお支払いの対象

＜医療機関等への支援について＞

- クラウドファンディング「新型コロナウイルス感染症：いのちとところを守るSOS基金」に2,000万円の寄付
- 日本赤十字社の血液センターへの提供を目的に社内献血を大阪本店および東京本部にて実施
- 医療関係機関に1億円の寄付
- フェイスシールド1万個を医療現場等へ無償提供

地域 ・ 社会

＜資産運用での貢献について＞

- 日本生命浜松町クリアタワーにおいて、「WELL Health-Safety Rating」を取得
- 世界銀行（国際復興開発銀行）が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドに1.5億豪ドル（約114億円）を投資
- Grove Street社が運用するファンドに100百万米ドル（約105億円）を投資
- 米州開発銀行が発行するサステナブル・シティ・ボンドに1.4億豪ドル（約104億円）を投資
- TPG社が運用するファンドに20百万米ドル（約21億円）を投資（インパクト投資の開始）
- 国際金融公社が発行するソーシャルボンドに2億豪ドル（約131億円）を投資

目次

1 グループ概況

2 国内生命保険事業

3 中期経営計画

4 業績見通し

【参考】 グループ各社の概況

1 グループ：主要項目概要

保険料等収入 (単位：億円)

⇒ 51,901

(前年度比 ▲9.3%)

基礎利益 (単位：億円)

⇒ 6,899

(前年度比 ▲0.8%)

ソルベンシー・マージン比率 (単位：%)

⇒ 1,075.0

(前年度末比 +27.5pt)

有価証券 含み損益 (単位：億円)

⇒ 127,352

(前年度末比 +27.3%)

国内生命保険：個人保険・個人年金保険

(単位：億円、万件)

年換算保険料

件数

保障額等

新
契
約

⇒ 3,070

(前年度比 ▲24.6%)

⇒ 421.6

(前年度比 ▲20.1%)

⇒ 81,107

(前年度比 ▲14.9%)

保
有
契
約

⇒ 45,089

(前年度末比 ▲0.3%)

⇒ 3,687

(前年度末比 +1.9%)

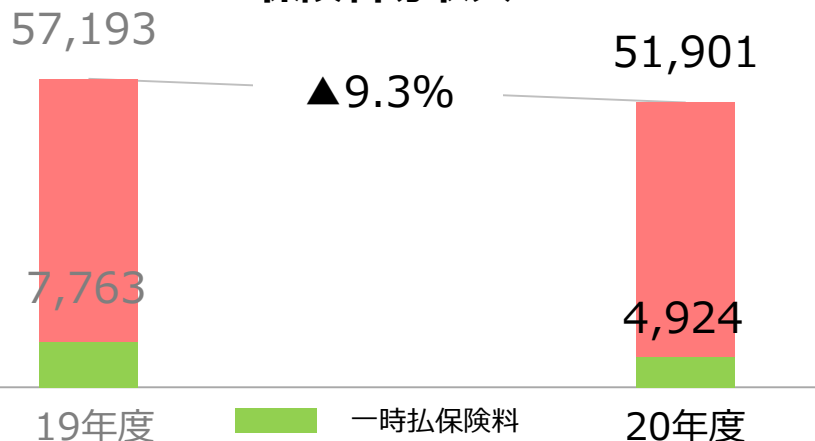
⇒ 1,761,920

(前年度末比 ▲1.6%)

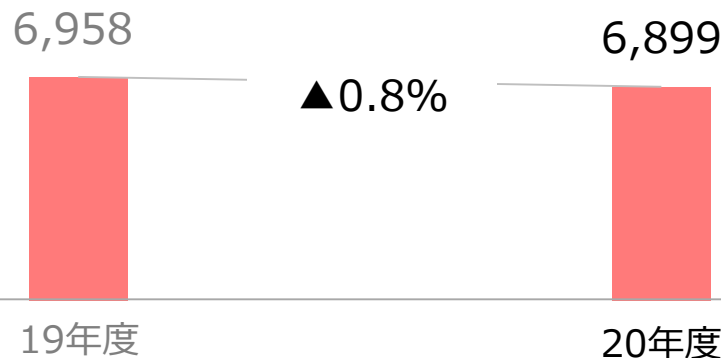
1 グループ：保険料等収入・基礎利益



保険料等収入 (単位：億円)



基礎利益 (単位：億円)



	2020年度	前年度比
保険料等収入	51,901	▲9.3%
日本生命	42,646	▲5.8%
大樹生命	4,412	▲33.9%
ニッセイ・ウェルス生命	2,827	▲8.5%
はなさく生命	68	+336.5%
MLC	1,601	▲8.6%

	2020年度	前年度比
基礎利益	6,899	▲0.8%
利差益	1,985	▲10.1%
保険関係損益	4,932	+4.8%
日本生命	6,565	+1.4%
大樹生命	264	▲7.6%
ニッセイ・ウェルス生命	247	▲4.2%
はなさく生命	▲159	▲55.6%
MLC	▲243	▲179.9%

※ 一時払保険料は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命における個人保険・個人年金保険の一時払商品を対象に算出

※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC Limited（以下、MLC）、米国日生を対象に算出）

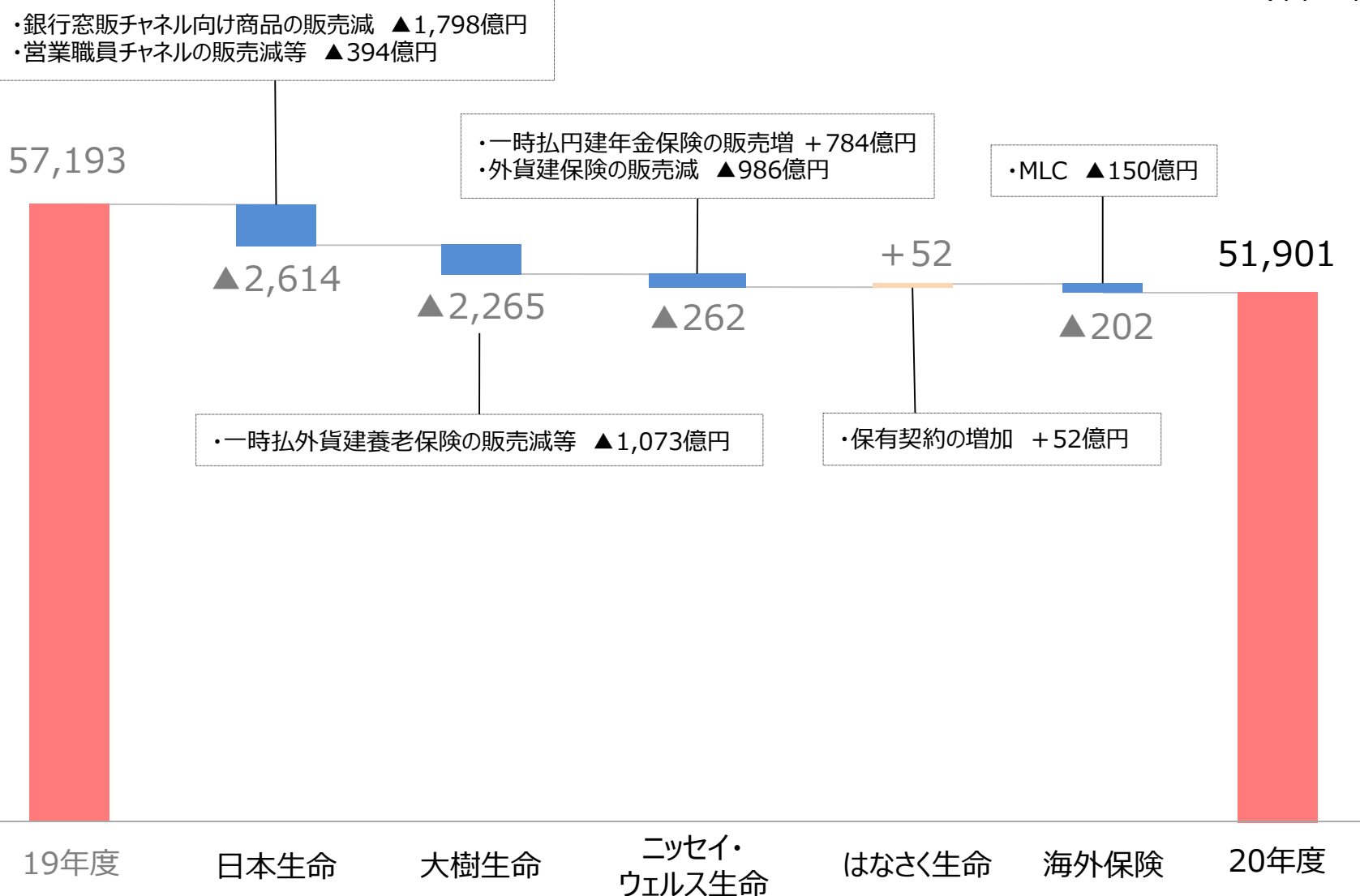
※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

※ 利差益、保険関係損益は国内生保の合計

1 グループ：保険料等収入



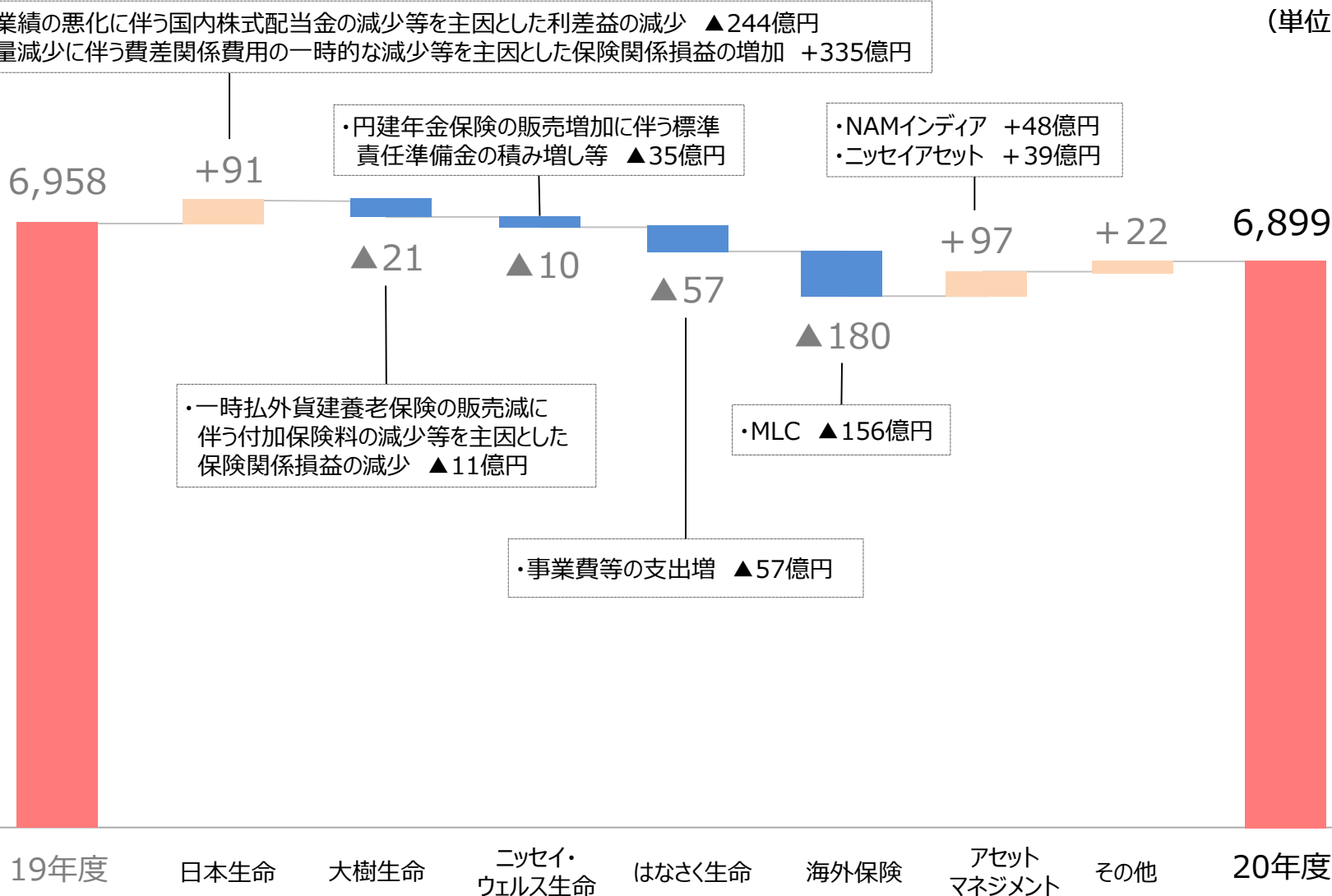
(単位：億円)



※ 合計値は連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC、米国日生を対象に算出）

1 グループ：基礎利益

(単位：億円)



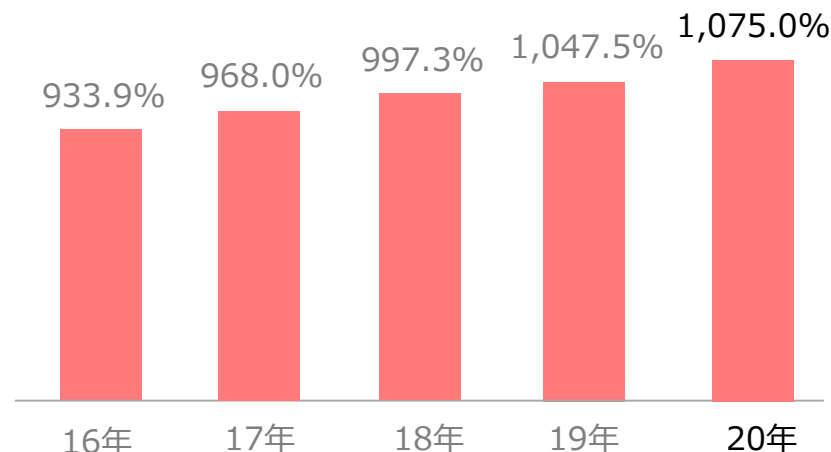
※ 合計値は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出

※ その他は配当相殺の増減

※ 【会社名称】 NAMインディア：ニッポンライフ・インディア・アセットマネジメント ニッセイアセット：ニッセイアセットマネジメント

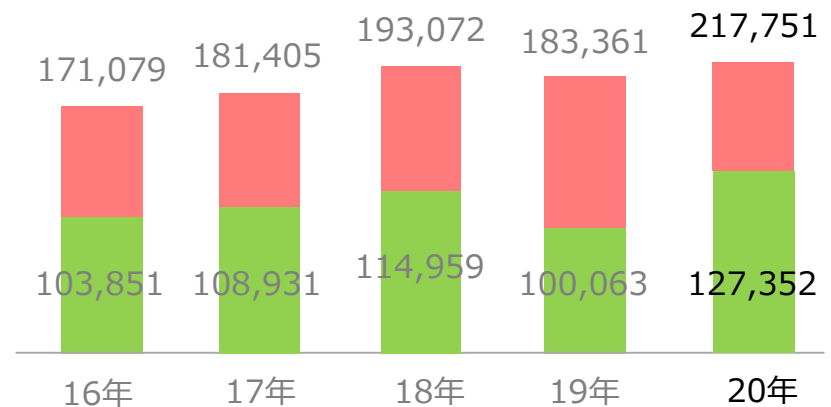
- ソルベンシー・マージン比率は、劣後債務調達に加え、危険準備金・価格変動準備金の積み増しを通じた自己資本の強化に伴い、前年度末比で増加。
- 実質純資産は、自己資本の着実な積み増しに加え、内外株価の上昇による有価証券の含み益の増加により、前年度末比で増加。

ソルベンシー・マージン比率



実質純資産

(単位：億円)



■ 有価証券含み損益

※ 有価証券含み損益は日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、海外生命保険子会社、その他連結対象子会社を対象に算出

損益計算書

- 有価証券売却益の計上を主因に、経常利益および当期純剰余は前年度比で増加。

(単位：億円)

	2020年度	前年度比
経常収益	81,609	+1.4%
保険料等収入	51,901	▲9.3%
資産運用収益	26,820	+33.6%
経常費用	76,853	▲1.1%
保険金等支払金	46,967	+3.0%
資産運用費用	3,472	▲50.3%
事業費	7,917	▲3.0%
経常利益	4,756	+69.0%
(基礎利益)	6,899	▲0.8%
特別損益	▲919	▲26.9%
当期純剰余(利益)	3,315	+72.5%

貸借対照表

- 有価証券の時価増加を主因に、総資産および純資産は前年度末比で増加。

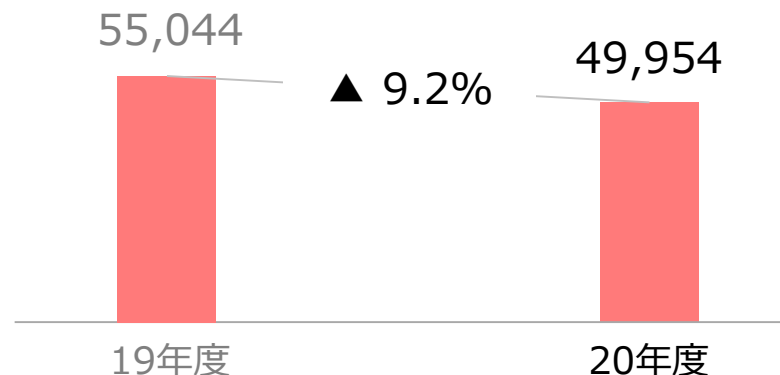
(単位：億円)

	2021年 3月末	前年度末比
総資産	855,899	+6.9%
うち有価証券	707,416	+8.7%
うち貸付金	84,239	▲0.2%
うち有形固定資産	19,410	+1.4%
負債	767,733	+3.9%
うち保険契約準備金	682,669	+2.2%
うち責任準備金	669,161	+2.3%
うち価格変動準備金	16,107	+5.2%
純資産	88,165	+43.2%

- 国内における保険料等収入は減収。
- 営業職員等チャンネルは、年度始のコロナ禍を受けた販売減や、海外金利の低下による一時払外貨建養老保険の販売減等により減収。
- 銀行窓販チャンネルは、コロナ禍や海外金利の低下による販売減等により減収。

保険料等収入（国内計）

（単位：億円）



	2020年度	前年度比
保険料等収入（国内計）	49,954	▲9.2%
うち個人保険・個人年金保険	35,886	▲8.3%
営業職員等チャンネル	31,323	▲3.8%
銀行窓販チャンネル	4,564	▲30.7%
うち団体保険	2,812	+1.3%
うち団体年金保険	10,598	▲5.8%

※ 日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値

- 国内の個人保険・個人年金保険の年換算保険料・件数・保障額等は、前年度比で減少。
- 営業職員等チャネルは、年度始のコロナ禍を受けた販売減や、海外金利の低下による一時払外貨建養老保険の販売減等により減少。
- 銀行窓販チャネルは、コロナ禍や海外金利の低下による販売減等により減少。

(単位：億円、万件)

個人保険・個人年金保険

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2020年度	前年度比	2020年度	前年度比	2020年度	前年度比
国内計	3,070	▲24.6%	421	▲20.1%	81,107	▲14.9%
営業職員等チャネル	2,157	▲14.3%	416	▲19.5%	76,470	▲13.1%
銀行窓販チャネル	913	▲41.3%	5	▲47.0%	4,636	▲36.9%
日本生命	2,099	▲16.2%	399	▲19.9%	72,048	▲14.7%
大樹生命	189	▲42.8%	11	▲40.9%	5,585	▲30.7%
ニッセイ・ウェルス生命	729	▲39.1%	2	▲2.9%	2,478	▲9.3%
はなさく生命	51	+33.7%	7	+22.1%	994	+918.6%

- 国内の個人保険・個人年金保険の保有契約は、年換算保険料・保障額等は減少、件数は増加。
- 団体保険・団体年金保険は増加。

個人保険・個人年金保険

(単位：億円、万件)

	年換算保険料		件数		保障額等	
	2021年 3月末	前年度末比	2021年 3月末	前年度末比	2021年 3月末	前年度末比
国内計	45,089	▲0.3%	3,687	+1.9%	1,761,920	▲1.6%
日本生命	37,382	▲0.6%	3,385	+2.0%	1,548,420	▲1.6%
大樹生命	5,147	+0.1%	254	▲1.9%	180,750	▲3.2%
ニッセイ・ウェルス生命	2,473	+1.1%	33	+3.2%	31,677	+1.7%
はなさく生命	85	+125.8%	13	+115.8%	1,071	+1,002.7%

団体保険・団体年金保険

	団体保険 (保障額等)		団体年金保険 (受託資産等)	
	2021年 3月末	前年度末比	2021年 3月末	前年度末比
国内計	1,105,042	+0.5%	178,466	+5.8%
日本生命	987,791	+0.9%	136,490	+2.0%
大樹生命	117,250	▲3.2%	7,801	▲0.3%

※ 団体保険・団体年金保険の国内計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命の合計値
 団体年金保険の国内計には、ニッセイアセットマネジメントの投資顧問残高(27,986億円)、確定拠出年金の投資信託(日本生命販社分6,175億円)を含む

- 日本生命および大樹生命における個人保険・個人年金保険について、前年度に引き続きご契約者への配当を実施する方針。

ご契約者配当の方針 (個人保険・個人年金保険)

日本生命

- 個人保険・個人年金保険について、ご契約者配当を実施。危険差益配当は**増配**、利差益配当は据え置きとする方針
 - 約1,000万件のご契約を対象にご契約者配当を実施
 - うち約700万件のご契約が増配の対象

大樹生命

- 個人保険・個人年金保険について、**前年度に引き続きご契約者配当を実施**する方針（水準は据え置き）
 - 約4万件のご契約を対象にご契約者配当を実施

- 2020年3月16日から9月30日にお申し出があったご契約と、2021年1月7日および2021年4月25日以降に緊急事態宣言が発令された一部の地域においてお申し出があったご契約を対象に、お客様からのお申し出に応じて、保険料の払い込みに関する期間を最長6カ月間延長。

■ 保険金のお支払い

		合計
死亡保険金		約790件 約84.9億円
	災害保険金	約140件 約9.3億円

■ 給付金のお支払い

		合計
入院給付金		約15,580件 約21.1億円
	みなし入院	約8,570件 約11.0億円

■ 保険料の払い込みに関する期間の延長

	2020年4-9月	2021年1-3月
保険料払い込み猶予	約26,900件	約2,300件

- ※ 死亡保険金および入院給付金は、2020年度の支払実績
- ※ 2021年1-3月の保険料の払い込みに関する期間の延長は、緊急事態宣言が発令された11都府県の受付件数

中期経営計画：「全・進-next stage-」 (2017-2020) における数量目標の結果

- グループ事業の拡大や着実な収益確保により「保有年換算保険料」「お客様数」、「自己資本」は達成。
- 金利低下による大樹生命の販売減やオーストラリアの生保子会社であるMLCの業績悪化等により「グループ事業純利益」は未達。

保有年換算保険料

4.5兆円
(20年度末)

4.50兆円
(20年度末)

お客様数

1,440万名
(20年度末)

1,447万名
(20年度末)

グループ事業純利益

700億円
(20年度末)

530億円
(20年度末)

自己資本

6.5兆円
(20年度末)

7.27兆円
(20年度末)

- ※ 保有年換算保険料及びお客様数は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の合計値
- ※ グループ事業純利益は、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、海外生命保険・アセットマネジメント事業子会社等の当期純利益に、持分比率、一部費用の調整等を行い算出（日本生命は除く）
- ※ 自己資本は、日本生命単体数値

3

中期経営計画：新中期経営計画「Going Beyond — 超えて、その先へ —」（2021-2023）の全体像

（目指す姿）“人・サービス・デジタル”で、お客様と社会の未来を支え続ける

目標

お客様数拡大を通じた“生産の早期回復・向上”と“収益力・健全性の向上”

グループ
成長戦略

I 国内保険市場の深耕

II グループ事業の強化・多角化

III 運用力強化・事業費効率化

グループ
経営基盤

グループ経営基盤の強化

ERM推進

デジタル活用

人材活躍

事業運営の
根幹

お客様本位の業務運営

サステナビリティ経営

〈中期経営計画期間目標〉

お客様数
(国内グループ)

2023年度末
1,490万名

保有年換算保険料
(国内グループ)

2023年度末
4.55兆円

基礎利益
(グループ)

安定的に確保
6,000億円

自己資本
(グループ)

2023年度末
9.0兆円

- 2021年度は日本生命グループ計で、前年度から減収・減益を見込む。
- 保険料等収入は、新契約の販売回復を一定程度見込むものの、日本生命の団体年金保険の受管減等により、減収を見込む。
- 基礎利益は、新契約の販売回復に伴う費差関係費用の増加等を主因とした保険関係損益の減少等により、減益を見込む。

(単位：億円、百万豪ドル)

	保険料等収入		基礎利益	
	2020年度	2021年度 見込み	2020年度	2021年度 見込み
グループ計	51,901	減少	6,899	減少
日本生命	42,646	減少	6,565	減少
大樹生命	4,412	増加	264	減少
ニッセイ・ウェルス生命	2,827	減少	247	減少
はなさく生命	68	増加	▲ 159	減少
MLC	1,785	横ばい	▲ 331	増加

- ※ 保険料等収入のグループ計は、連結保険料等収入（日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命、MLC、米国日生を対象に算出）
- ※ 基礎利益のグループ計は、日本生命、大樹生命、ニッセイ・ウェルス生命、はなさく生命の基礎利益、海外生命保険子会社・関連会社および国内外のアセットマネジメント事業子会社・関連会社の税引前純利益に、持分比率、金利変動要因の除外、一部の内部取引調整等を行い算出
- ※ MLCの保険料等収入は収入保険料。基礎利益は税引前利益に持分比率、金利変動要因等の除外を行い算出（現地通貨ベース）

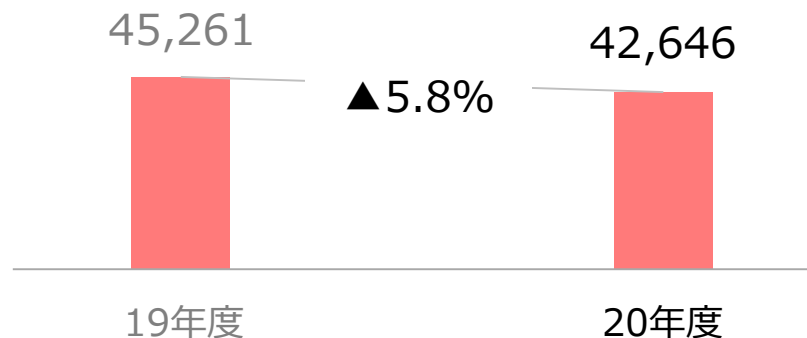
【参考】
グループ各社の概況

【参考】日本生命（単体）：収支

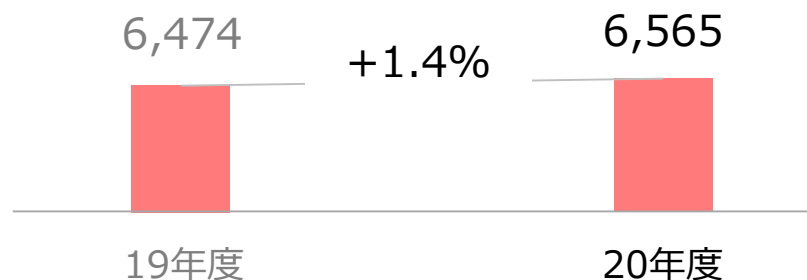
- 日本生命単体は前年度より減収・増益。
- 保険料等収入は、海外金利の低下等による銀行窓販チャネル向け商品の販売減や、年度始のコロナ禍を受けた営業職員チャネルの販売減等により減収。
- 基礎利益は、企業業績の悪化に伴う国内株式配当金の減少等を主因とした利差益の減少があったものの、販売量減少に伴う費差関係費用の一時的な減少等を主因とした保険関係損益の増加により増益。

保険料等収入

(単位：億円)



基礎利益



	2020年度	前年度比
基礎利益	6,565	+1.4%
利差益	1,965	▲11.0%
費差益	392	+39.0%
危険差益	4,207	+5.7%

資産運用収支（一般勘定）

（単位：億円）

- 資産運用収支は前年度より増加。
- 資産運用収益は、年度始の社債スプレッドの拡大を捉えた外国国債から外国社債への入替や外国株式の売却に伴う有価証券売却益の計上により増加。
- 資産運用費用は、有価証券評価損の減少により減少。

	2020年度	前年同期差
資産運用収益	19,648	+1,879
うち利息及び配当金等収入	13,819	▲441
うち有価証券売却益	5,072	+1,790
資産運用費用	2,274	▲2,389
うち有価証券売却損	401	▲85
うち有価証券評価損	49	▲1,974
うち金融派生商品費用	480	▲359
資産運用収支	17,373	+4,268

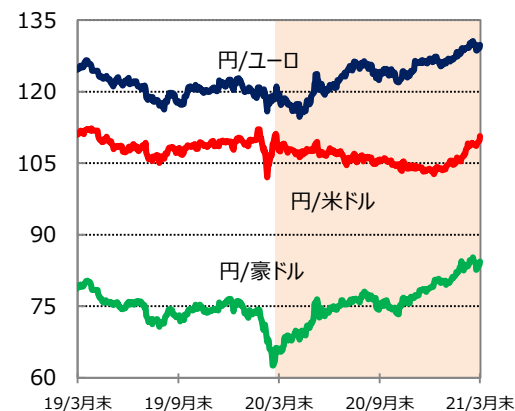
マーケット状況

（単位：％）



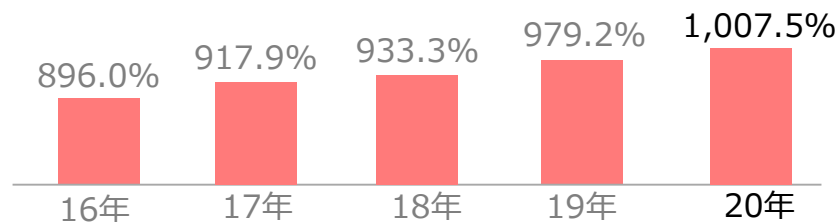
（単位：円）

（単位：円）



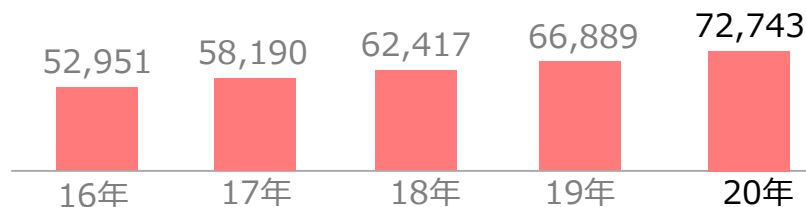
- ソルベンシー・マージン比率は、劣後債務調達に加え、危険準備金・価格変動準備金の積み増しを通じた自己資本の強化に伴い、前年度末比で増加。
- 有価証券の含み益は、内外株価の上昇により前年度末から増加。

ソルベンシー・マージン比率



自己資本

(単位：億円)



有価証券 含み損益

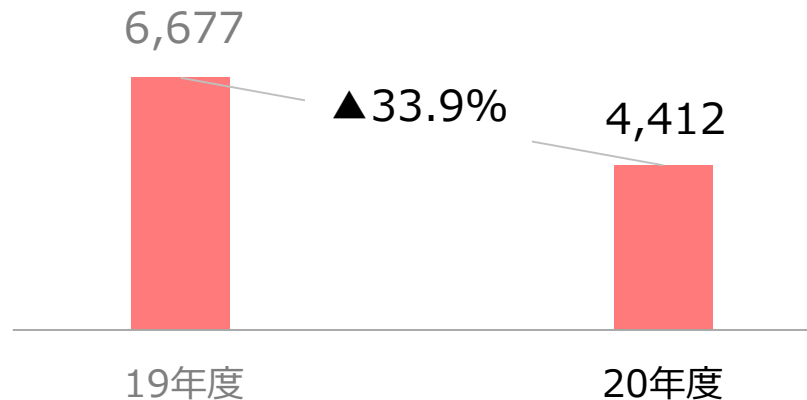
(単位：億円)

	2021年 3月末	前年度末差
時価のある有価証券	123,024	+27,189
公社債	31,450	▲ 7,749
国内株式	58,642	+26,862
外国証券	30,823	+8,158
その他	2,107	▲ 81

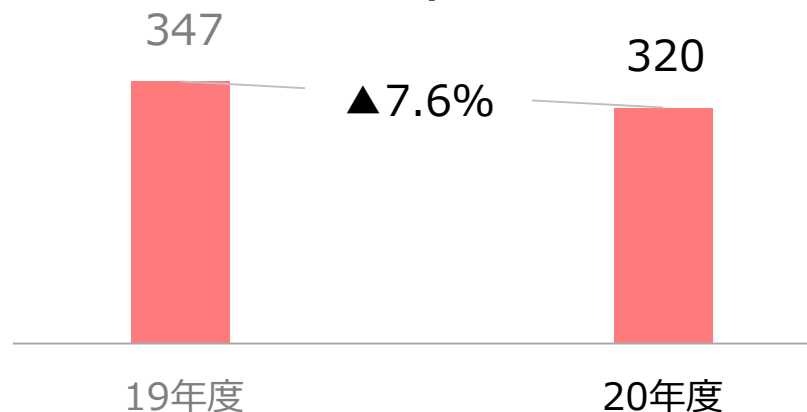
(単位：億円)

- 大樹生命は前年度より減収・減益。
- 保険料等収入は、海外金利の低下による一時払外貨建養老保険の販売減を主因に減収。
- 基礎利益は、一時払外貨建養老保険の販売減に伴う付加保険料の減少を主因とした保険関係損益の減少等により減益。

保険料等収入



基礎利益

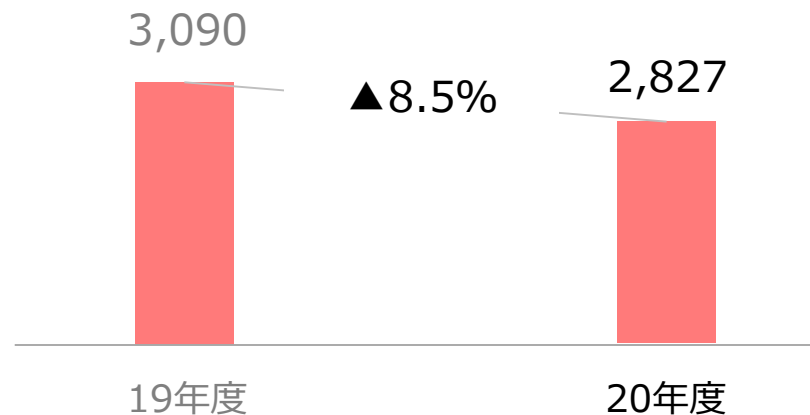


※ 単体の数値を記載

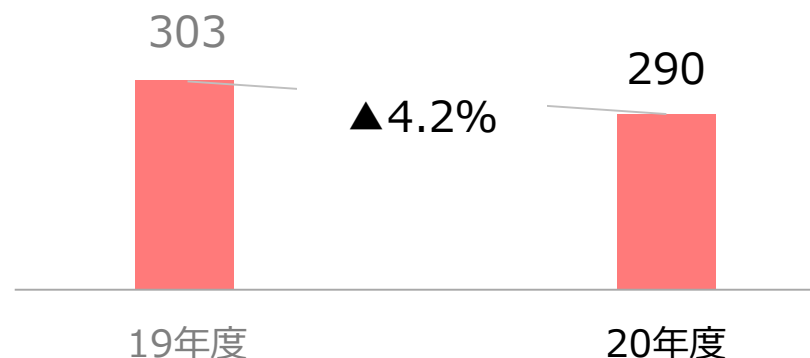
(単位：億円)

- ニッセイ・ウェルス生命は前年度より減収・減益。
- 保険料等収入は、コロナ禍に伴う金融機関の営業自粛や海外金利の低下による外貨建保険の販売減により減収。
- 基礎利益は、円建年金保険の販売増加に伴う標準責任準備金の積み増しを主因に減益。

保険料等収入



基礎利益



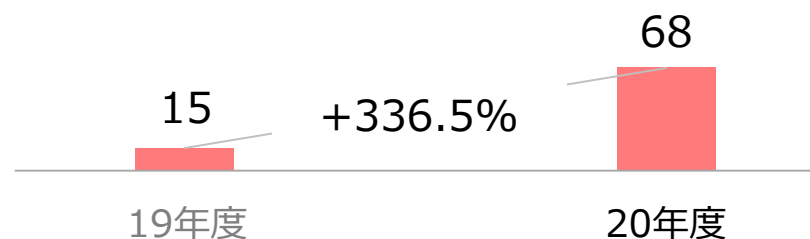
※ 単体の数値を記載

【参考】はなさく生命

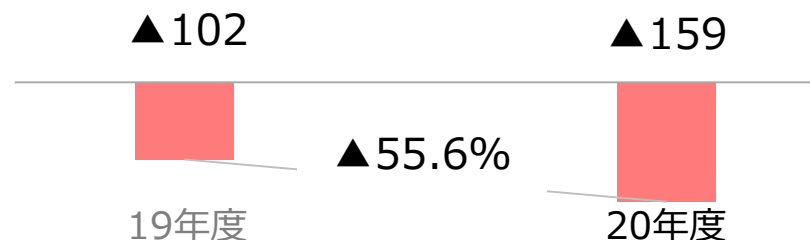
(単位：億円)

- はなさく生命は前年度より増収・減益。
- 保険料等収入は、保有契約の着実な拡大に伴い、増収。
- 基礎利益は、事業拡大による事業費等の支出増を主因に減益。

保険料等収入



基礎利益



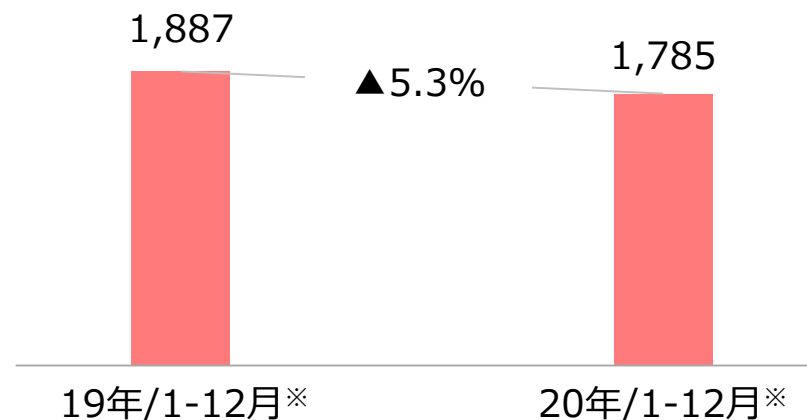
※ 単体の数値を記載

※ はなさく生命を2019年度第1四半期から連結反映

(単位：百万豪ドル)

- MLCは、前年度より減収・減益。
- 収入保険料は、団体保険領域における規制変更に伴う保有減少を主因に減収。
- 基礎利益は、団体保険の収支悪化を主因に減益。

収入保険料



基礎利益



- ※ 単体の数値を記載
- ※ 第4四半期決算では1-12月期を連結反映
- ※ 収入保険料は、手数料を除いた数値を記載
- ※ 基礎利益は、税引前利益から金利変動等の影響を除いた数値を記載